

3 発生抑制対策に係る事業

3.1 海外交流事業

3.1.1 石垣市における交流事業 配布資料「沖縄・台湾漂着ごみ対策交流事業 2014年10月 石垣島」(沖縄県参加者用 日本語版)



沖縄・台湾漂着ごみ対策交流事業

2014年10月 石垣島

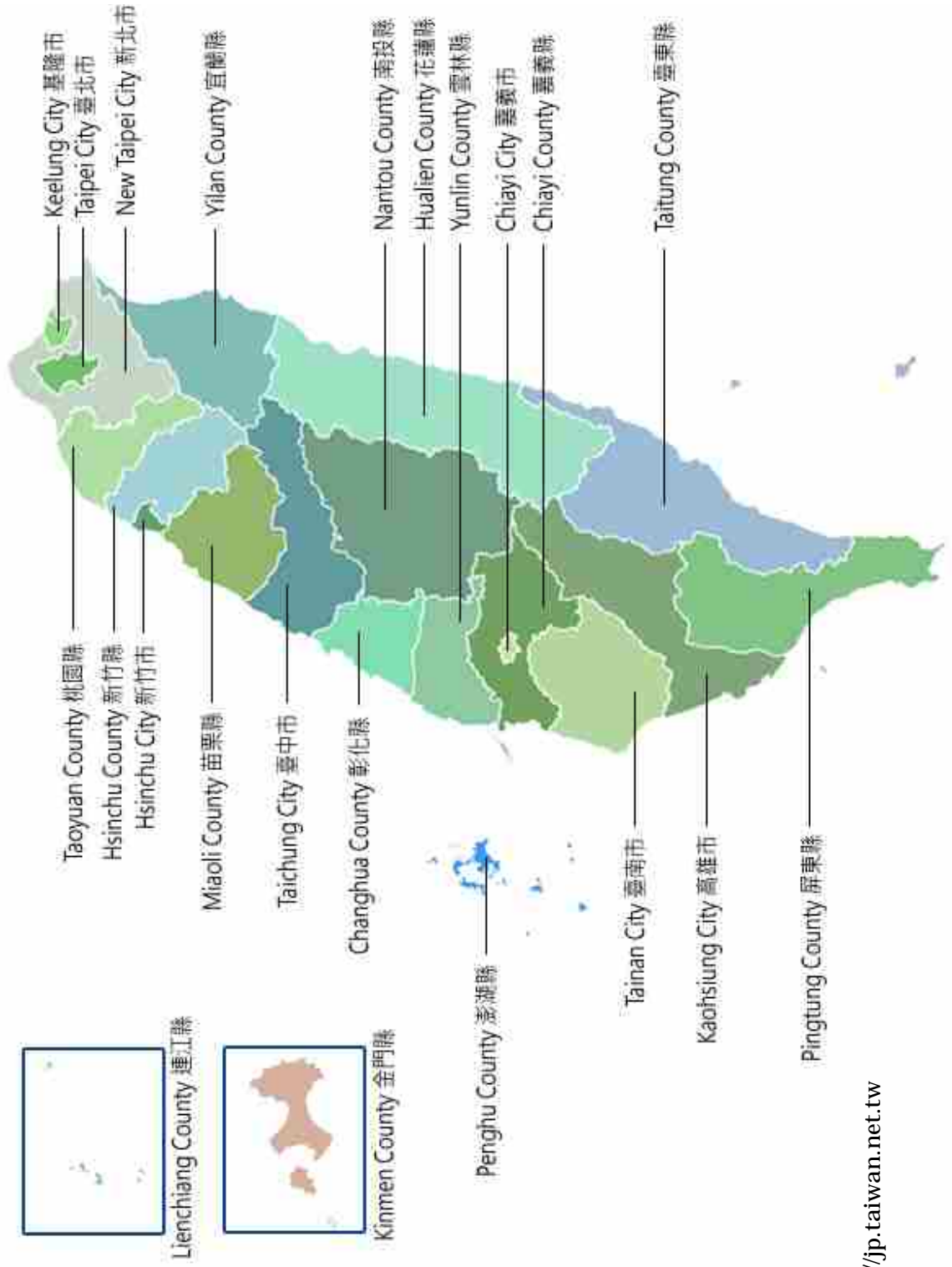


海 LoveLove フェスタ in 石垣島 2013



主催 沖縄県

台灣MAP



<http://jp.taiwan.net.tw>

沖繩県MAP



石垣島MAP



目 次

	はじめに 平成26年度に沖縄県が実施する 「沖縄・台湾漂着ごみ対策交流事業」のご案内 …… 1
	沖縄県石垣市(石垣島)における交流事業の概要 …… 4
	行程表 …… 5
	参加者名簿 …… 7
	10/18の開催内容 オリエンテーション …… 8 宿泊施設情報 …… 11
	10/19の開催内容 海Love Love フェスタ …… 14 沖縄県の環境教育・普及啓発の取組紹介 …… 18 海Love Love フェスタ 打ち上げ PARTY …… 21
	10/20の開催内容 ワークショップ・懇親会 …… 22 1月ワークショップ事前協議 …… 25 移動の予定 …… 26 県営バナナ公園 見学 …… 26 宿泊施設情報 …… 28
	講演資料 沖縄県の取り組み …… 31 台湾の取り組み …… 39 海Love Love フェスタ概要説明 …… 47

はじめに

平成 26 年度に沖縄県が実施する 「沖縄・台湾漂着ごみ対策交流事業」 のご案内

開催目的

沖縄県は、平成 21 年度より国の補助金を活用し、海岸漂着ごみの状況把握のための調査、対策の検討、回収処理、発生抑制に係る普及啓発・環境教育等を進めております。

沖縄県内でみられる海岸漂着ごみは、その多くが海外由来であるものの、県内由来のものも含まれ、特に人口の多い地域では地元から発生したごみの割合が高くなる傾向にあります。したがって、海岸漂着ごみの発生抑制対策を進めていくためには、地域関係者の中で漂着状況とその対策方法を情報共有した上で、普及啓発・環境教育の取組推進が不可欠であり、更にはこれらを担う人材の育成と確保も必要になります。

また、海岸漂着物の問題は、県内だけの問題に留まらないことから、近隣諸国との情報共有と連携を踏まえた対策を進めることも有効であると思われま

そこで沖縄県は平成 26 年度において、沖縄県の近隣に位置する台湾の行政期間並びに民間団体と、双方の海岸を合同踏査しつつ海岸漂着ごみの現状、課題、対策について情報共有及び意見交換を行う「沖縄・台湾漂着ごみ対策交流事業」を開催することと致しました。この交流事業では、開催の成果を双方の環境教育・普及啓発等の活動に取り入れていくことにより発生抑制対策の推進に役立てることを目的としています。

開催計画と内容

交流事業では、新北市において事業計画に係る事前協議を行った後、沖縄県と台湾でそれぞれ交流の取組を実施します。

(1)事前協議（新北市 / 平成 26 年 7 月 31 日実施済み）

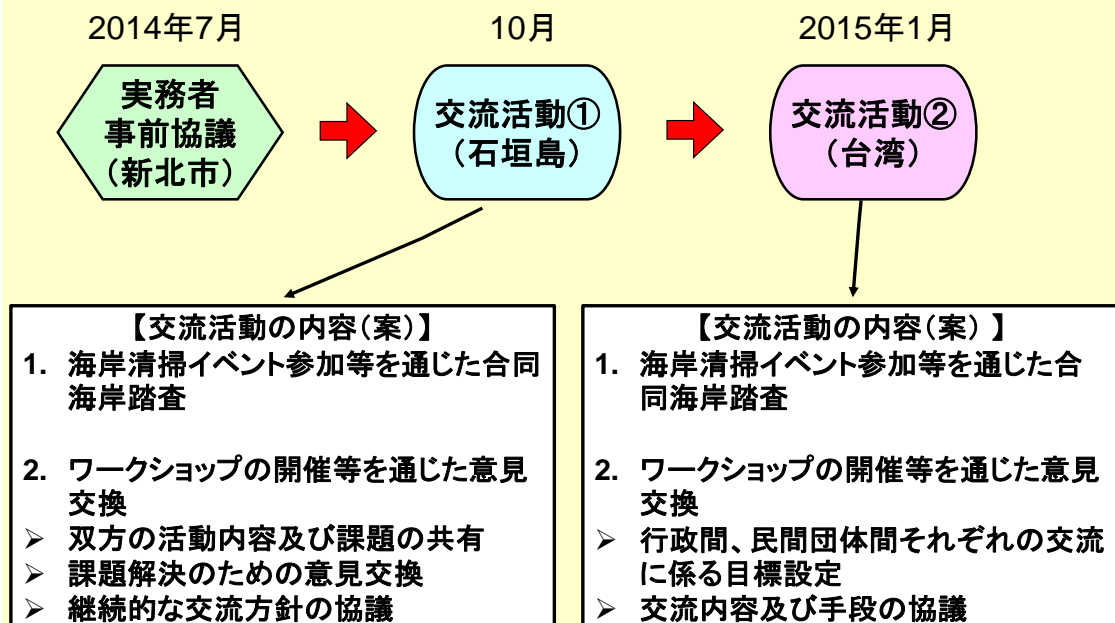
台湾新北市において、沖縄県と新北市政府及び民間団体代表者により、交流事業計画に係る事前協議を行いました。

(2)沖縄県石垣市(石垣島)における交流事業（平成 26 年 10 月 18～20 日実施）

石垣島において、海岸漂着ごみの合同調査と普及啓発をかねた清掃活動、更には海岸漂着ごみに係る情報共有、課題解決、継続的な交流方針をテーマとしたワークショップを開催します。なお、清掃活動は、平成 26 年 10 月 19 日に開催される『第 6 回 海 Love Love フェスタ in 石垣島 2014』に参加する形で実施します。

(3)台湾新北市における交流事業（平成 27 年 1 月末実施予定）

台湾新北市において、上記の石垣市における交流事業と同様に、海岸漂着ごみの合同調査と普及啓発をかねた清掃活動を行うことに加え、行政・民間団体それぞれの交流目標や交流内容等をテーマとしたワークショップを開催します。



参加機関・団体

主催者

沖縄県環境部環境整備課

沖縄県側参加団体

- ・ NPO 法人 海の自然史研究所
- ・ 一般社団法人 JEAN
- ・ 那覇クリーンビーチクラブ
- ・ 久米島ホテルの会
- ・ 水中写真家/有限会社ちむちゅらさ
- ・ 恩納村「海をきれいに！」実行委員会
- ・ しかたに自然案内
- ・ 波の上うみそら公園/那覇シーサイドパーク
- ・ NPO 法人 宮古島 海の環境ネットワーク
- ・ 石垣ビーチクリーンクラブ
- ・ 海 LOVE ネットワーク事務局
- ・ 石垣島沿岸レジャー安全協議会
- ・ NPO 法人 西表島エコツーリズム協会

台湾側参加機関・団体

- ・ 新北市政府環境保護局 環境衛生管理科/水質保護科/循環資源科
- ・ 新北市 金山區清潔隊/萬里區清潔隊/新店區清潔隊
- ・ 社團法人 中華民國荒野保護協會
- ・ 國立海洋科技博物館
- ・ 財団法人 黑潮海洋文教基金会
- ・ 台湾環境資訊協會
- ・ 臺南社區大學/海灘廢棄物監測社

事業支援

公益財団法人 沖縄県産業振興公社

(日本國沖縄縣政府公益財団法人 沖縄縣産業振興公社)

●事業受託業者

日本エヌ・ユー・エス(株)・(株)沖縄環境保全研究所 共同企業体

沖縄県石垣市(石垣島)における交流事業の概要

(2014年10月18～20日)

開催内容

月 日	開催内容
10/18(土)	<p>オリエンテーション (16:35～18:25/大濱信泉記念館 多目的ホール)</p> <p>沖縄県、石垣市、新北市より挨拶、開催内容の説明と参加者紹介、沖縄県及び台湾の漂着ごみに係る取組みの説明、海 LoveLove フェスタの概要説明を行います。</p>
	<p>沖縄県主催による歓迎夕食会 (19:00～/日本料理郷土料理 ひるぎ)</p> <p>沖縄県環境部が台湾側参加者を招待し、歓迎の夕食会を行います。</p>
10/19(日)	<p>海 Love Love フェスタ (9:00～14:00/海岸清掃イベント参加)</p> <p>漂着ごみの合同調査と普及啓発を兼ねて、参加者全員で海岸清掃イベント『第6回 海 Love Love フェスタ in 石垣島 2014』に参加します。</p>
	<p>沖縄県の環境教育・普及啓発の取組紹介 (14:00～17:00)</p> <p>石垣島で代表的な景勝地である川平湾へ移動し、沖縄県内で行われている環境教育・普及啓発の取組を紹介します。</p>
10/20(月)	<p>ワークショップ開催 (9:00～11:30/ホテルミヤヒラ 梯梧の間)</p> <p>海岸漂着ごみに係る情報共有、課題解決、継続的な交流方針をテーマとしたワークショップを開催します。 ※ワークショップ終了後、11:45～12:15の間に次回1月末に台湾で開催予定の交流事業に係る事前協議を行います。</p>
	<p>懇親会開催 (12:30～14:00/ホテルミヤヒラ 梯梧の間)</p> <p>ワークショップ参加者の親交を深めることを目的として、昼食を兼ねた懇親会を開催します。</p>

主催者

沖縄県環境部環境整備課

問い合わせ先

主催者：沖縄県 環境部 環境整備課

担当者 國場 豊 TEL：098-866-2231

事業受託業者：日本エヌ・ユー・エス(株)・(株)沖縄環境保全研究所共同企業体

担当者 日本エヌ・ユー・エス(株) 野上 大介 TEL:090-1800-6707

行程表

月日	時間	台湾側参加機関・団体	沖縄県側参加団体	備考
10/18 (土)	6:45	台湾 桃園空港 発	—	
	9:15	沖縄 那覇空港 着 (国際線ターミナル)	—	
		那覇空港(国内線ターミナル ANA) 移動、荷物預け	—	
	～13:00	那覇空港内にて各自昼食	—	
	13:00	那覇空港内で集合	各自搭乗	
	14:00	沖縄 那覇空港 発【ANA1775】		
	15:00	沖縄 新石垣空港 着		
	15:30ごろ	新石垣空港内で集合		集合場所:空港1F到着ロビー前の 中央出入口
	15:45	沖縄 新石垣空港 発		貸切バスで移動
	16:20	オリエンテーション会場 大濱信泉記念館 着		
	16:35～ 18:25	オリエンテーション【会場:大濱信泉記念館】 ・記念品贈呈 ・「沖縄・台湾漂着ごみ対策交流事業」説明 ・各団体紹介 ・沖縄県の取り組み ・台湾の取り組み ・海LoveLoveフェスタ概要説明		会場:大濱信泉記念館2F 多目的ホール
	18:30	大濱信泉記念館 発		貸切バスで移動
	18:45	ホテルミヤヒラ 着【チェックイン】		
	19:00～	歓迎夕食会(沖縄県主催)	石垣市内で各自夕食	

沖縄県石垣市（石垣島）における交流事業の概要

月日	時間	台湾側参加機関・団体	沖縄県側参加団体	備考
10/19 (日)	8:30	ホテルミヤヒラ 発		貸切バスで移動
	9:00～	海LoveLoveフェスタ in 石垣島2014 参加		会場:吉原ヒュッタ海岸
	12:00ごろ	昼食	昼食 (12:30ごろWSファシリテータ 打合わせ)	会場で昼食
	14:00ごろ	海LoveLoveフェスタ in 石垣島2014 終了		
	14:30～ 16:30	川平湾、この先海ですPJ見学、環境教育体験		貸切バスで移動
	17:00	ホテルミヤヒラ 着		
		石垣市内で各自夕食 (希望者は海Love打ち上げPARTYに各自参加)		*会場は本資料P.20参照
10/20 (月)	8:30～	受付開始【会場:ホテルミヤヒラ】		各自チェックアウト 会場:ホテルミヤヒラ2F 梯梧の間
	9:00～11:30	ワークショップ		
	11:30～11:45	休憩		
	11:45～12:15	1月ワークショップ事前協議		
	12:15～12:30	休憩		
	12:30～14:00	懇親会		
	15:00	ホテルミヤヒラ 発	ホテルミヤヒラ 発 【在島参加者 解散】	貸切バスで移動
	15:20	県営パンナ公園 着		
	16:00	県営パンナ公園 発		
	15:30	沖縄 新石垣空港 着	新石垣空港 着 【新石垣空港にて解散】	
	18:00	沖縄 新石垣空港 発【ANA1780】		
	18:55	沖縄 那覇空港 着		
	19:30	ホテルユクエスタ 着 【チェックイン】	—	モノレールで移動(乗車券配布)
		那覇市内で各自夕食	—	
10/21 (火)	8:30	ホテルユクエスタ 発	—	モノレールで移動(乗車券配布)
	9:00	沖縄 那覇空港 着 【那覇空港にて解散】	—	
	11:45	沖縄 那覇空港 発	—	
	12:10	台湾 桃園空港 着	—	

参加者名簿

(順不同・敬称略)

	所属	役職	氏名	NAME	参加日			
					10/18	10/19	10/20	
1	沖縄県	沖縄県環境部	部長	當間 秀史	Hidefumi Touma	○	○	
2		沖縄県環境部	環境企画統括監	大浜 浩志	Hidefumi Touma	○	○	○
3		沖縄県環境部環境整備課	課長	比嘉 隆	Takashi Higa	○	○	○
4		沖縄県環境部環境整備課一般廃棄物班	班長	新垣 博	Hiroshi Arakaki	○	○	○
5		沖縄県環境部環境整備課一般廃棄物班	主任	國場 豊	Yutaka Kokuba	○	○	○
6		沖縄県環境部環境整備課一般廃棄物班	技師	安里 将仁	Masahito Asato	○	○	
7	沖縄県 民間団体	NPO法人 海の自然史研究所	代表理事兼主任研究員	藤田 喜久	Yoshihisa Fujita			○
8		一般社団法人 JEAN	事務局長	小島 あずさ	Azusa Kojima	○	○	○
9		久米島ホテルの会	事務局長	佐藤 直美	Naomi Sato	○	○	○
10		水中写真家 / 有限会社ちむちゅらさ	代表取締役	横井 謙典	Kensuke Yokoi	○	○	○
11		しかたに自然案内	代表	鹿谷 麻夕	Mayu Shikatani	○	○	○
12		波の上のみそら公園 / 那覇シーサイドパーク	マリン担当マネージャー	加藤 淳一	Junichi Kato	○	○	○
13		NPO法人 宮古島 海の環境ネットワーク	共同代表理事	春川 京子	Kyoko Harukawa	○	○	○
14		石垣ビーチクリーンクラブ	代表	佐藤 紀子	Noriko Sato	○	○	○
15		海LOVEネットワーク事務局	実行委員長	笠原 利香	Rika Kasahara	○	○	○
16		石垣島沿岸レジャー安全協議会	役員	大堀 健司	Kenji Ohori		○	○
17	NPO法人 西表島エコツーリズム協会	理事	徳岡 春美	Harumi Tokuoka	○	○	○	
18	新北市 政府	新北市政府環境保護局	主任秘書	丘明中	Chiou Ming-Jong	○	○	○
19		新北市政府環境保護局環境衛生管理科	股長	陳彥伶	Chen Yen-Ling	○	○	○
20		新北市政府環境保護局環境衛生管理科	技佐	林晉毅	Lin Chin-Yi	○	○	○
21		新北市政府環境保護局水質保護科	助理環境技術士	蘇士陽	Su Shih-Yang	○	○	○
22		新北市政府環境保護局循環資源科	股長	鄧筱光	Teng Hsiao-Kuang	○	○	○
23		新北市金山區清潔隊	隊長	高櫻芬	Kao Ying-Fen	○	○	○
24	新北市萬里區清潔隊	隊長	徐誌宏	Hsu Chih-Hung	○	○	○	
25	新北市新店區清潔隊	隊長	曾士豪	Tseng Shih-Hao	○	○	○	
26	台湾 民間団体	社團法人中華民國荒野保護協會	海洋守護專員	胡介申	Hu Chieh-Shen	○	○	○
27		國立海洋科技博物館展示教育組	助理	廖運志	Liao Yun-Chih	○	○	○
28		財団法人黒潮海洋文教基金会	主任	賴威任	Lai Wei-Jen	○	○	○
29		台湾環境資訊協會	專案執行	周昭蕊	Chou Chao-Jui	○	○	○
30		台湾環境資訊協會	專案經理	溫于璇	Wen Yu-Hsuan	○	○	○
31		臺南社區大學 / 海灘廢棄物監測社	社長	戴雅婷	Tai Ya-Ting	○	○	○
32	臺南社區大學 / 海灘廢棄物監測社	資深志工	莊勝凱	Chuang Sheng-Kai	○	○	○	
33	事業 受託業者	日本エヌ・ユー・エス株式会社 (JANUS)		野上 大介	Daisuke Nogami	○	○	○
34		日本エヌ・ユー・エス株式会社 (JANUS)		後藤 澄江	Sumie Goto	○	○	○
35		日本エヌ・ユー・エス株式会社 (JANUS)		田中 美帆	Miho Tanaka	○	○	○
36		日本エヌ・ユー・エス株式会社 (JANUS)		江 俊賢	Chiang Jing-Hsien	○	○	○
37	株式会社 沖縄環境保全研究所 (KHK)	主任	角 一人	Kazuto Sumi	○	○	○	
38	通訳	有限会社 オフィスアイシーシー		安見 雅姿	Masashi Yasumi	○	○	○
39		有限会社 オフィスアイシーシー		神里 麗珠	Reishu Kamisato	○	○	○
40			新城 安哲	Yasutetsu Araki	○	○	○	

現地協力/オブザーバー

(順不同・敬称略)

	所属	役職	氏名	氏名 アルファベット	参加日			
					10/18	10/19	10/20	
41	石垣市	市長	中山 義隆	Yoshitaka Nakayama	○			
42	沖縄県 民間団体 / 石垣市	海LOVEネットワーク事務局 / 石垣市企画部	総合プロデューサー / 企画部長	嘉数 博仁	Hirohito Kakazu	○	○	
43	沖縄県 民間団体	海LOVEネットワーク事務局		江尻 栄子	Eiko Ejiri	○	○	
44	沖縄県 民間団体	NPO法人 宮古島 海の環境ネットワーク	共同代表理事	隈本 剛	Tsuyoshi Kumamoto	○	○	
45		NPO法人 宮古島 海の環境ネットワーク	事務局長	芝原 晋	Shin Shibahara	○	○	
46		NPO法人 宮古島 海の環境ネットワーク	海岸清掃委員	森地 真佐代	Masayo Morichi	○	○	
47		NPO法人 海の自然史研究所	副代表理事	今宮 則子	Noriko Imamiya		●	
48	NPO法人 海の自然史研究所	スタッフ	森 有紀子	Yukiko Mori		●		
49	長崎県 対馬市 民間団体	NPO法人 対馬の底力	代表	長瀬 勉	Tsutomu Nagase	○	○	△
50		NPO法人 対馬次世代協議会(対馬コノソレ)	代表	岸良 広大	Koudai Kishira	○	○	△
51		NPO法人 対馬次世代協議会(対馬コノソレ)	スタッフ	棧原 真澄	Masumi Sajikibara	○	○	△
52		NPO法人 森里海再生協議会	事務局	松村 信彦	Nobuhiko Matsumura	○	○	△
53		美しい対馬の海ネットワーク	会長	上野 芳喜	Yoshiki Ueno	○	○	△
54		一般社団法人 MIT	画家/島デザイナー	松野 由起子	Yukiko Matsuno	○	○	△
55	長崎県対馬市 事業受託業者	日本エヌ・ユー・エス株式会社 (JANUS)		佐藤 光昭	Mitsuaki Sato	○	○	○
56		日本エヌ・ユー・エス株式会社 (JANUS)		鈴木 善弘	Yoshihiro Suzuki	○	○	○

●:この先海ですプロジェクトのみ

△:午前中のみ

10/18(土)の開催内容

- オリエンテーション
- 歓迎夕食会

オリエンテーション【10/18(土) 16:35~18:25】

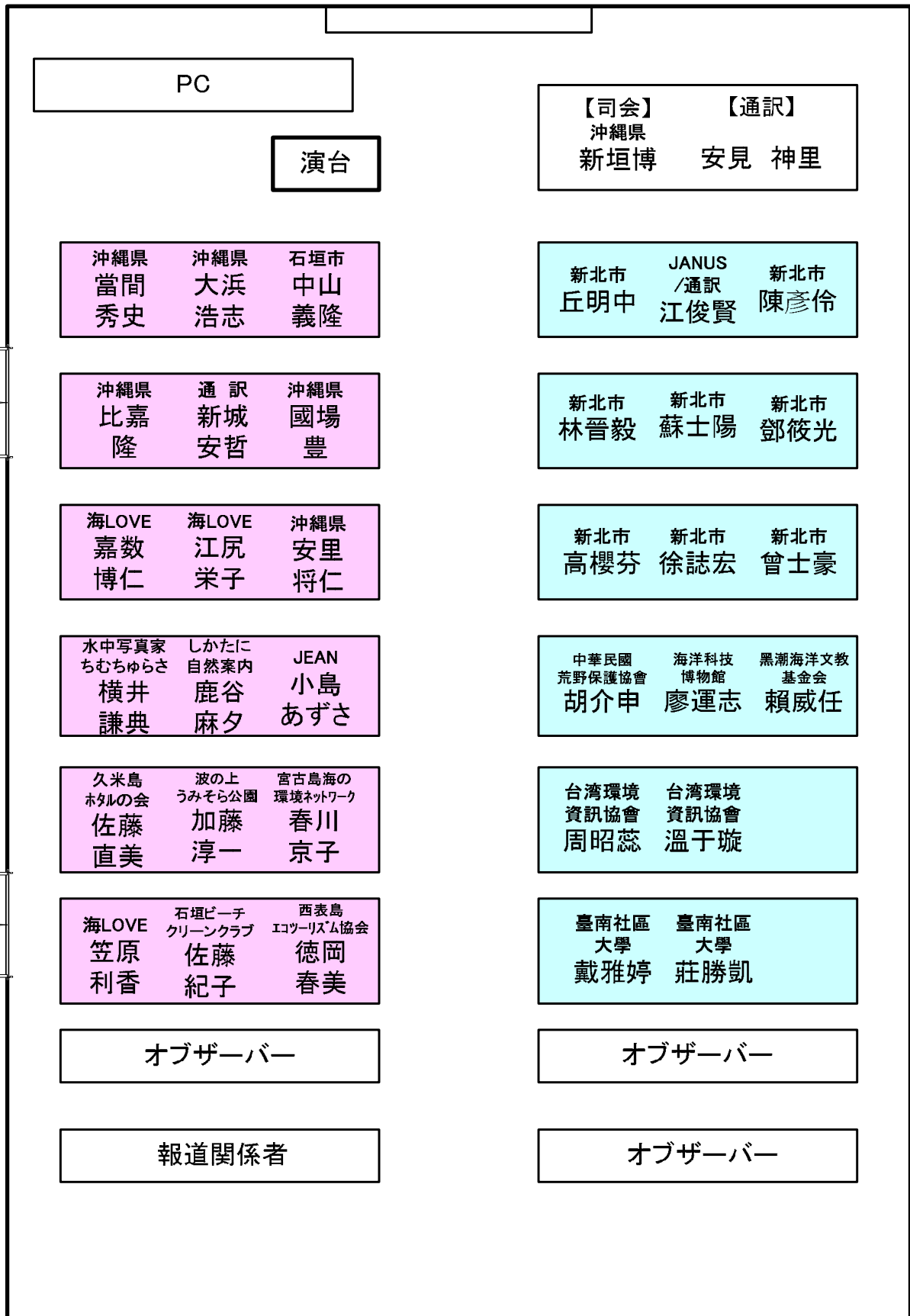
会場

会場	大濱信泉記念館 2階 多目的ホール
住所	〒907-0004 沖縄県石垣市登野城 2-70
TEL	0980-84-1551
HP	http://ohamanobumoto.com/
アクセス	ホテルミヤヒラから 730 交差点に向かい、空港方面(東)に徒歩約 5 分。 新石垣空港に集合される方は貸切バスで送迎いたします。
周辺地図	 <p>会場は赤矢印、ホテルミヤヒラは で示した場所です。</p>
施設案内	 <p>会場は赤矢印で示した場所です。</p>

大濱信泉記念館 HP より作成

座席表（敬称略）

ネームプレートが置かれた席にお座りください。



プログラム

(敬称略)

時間	内容
16:35	開会 司会 新垣 博 (沖縄県環境部環境整備課一般廃棄物班 班長)
16:35~16:45 通訳含めて10分	開会挨拶 當間 秀史 (沖縄県環境部 部長)
16:45~16:55 通訳含めて10分	ご挨拶 中山 義隆 (石垣市 市長)
16:55~17:05 通訳含めて10分	ご挨拶 丘明中 (新北市政府環境保護局 主任秘書)
17:05~17:15	記念品贈呈式
17:15~17:35 講演 10分 通訳含めて20分	講演 1 沖縄県の取り組み「沖縄県の漂着ごみ対策について」 ・「沖縄・台湾漂着ごみ対策交流事業」説明 ・沖縄県参加者紹介 比嘉 隆 (沖縄県環境部環境整備課 課長)
17:35~17:55 講演 10分 通訳含めて20分	講演 2 台湾の取り組み ・台湾参加者紹介
17:55~18:15 講演 10分 通訳含めて20分	講演 3 海 LOVELOVE フェスタ概要説明 「海 LOVELOVE フェスタ in 石垣島 2014」について 嘉数 博仁 (海 LOVE ネットワーク事務局 総合プロデューサー) 江尻 栄子 (海 LOVE ネットワーク事務局)
18:15~18:20 通訳含めて5分	閉会挨拶 大浜 浩志 (沖縄県環境部 環境企画統括監)
最長 18:25まで	閉会

会場の都合で、会場を使用できる時間が16:30~18:30(準備・片付け含む)に限られております。定刻進行にご協力お願いいたします。

全講演に逐次通訳(日 中・中 日)がつくため、講演時間が短く設定されています。

当日は新聞社等マスコミの取材が予想されます。写真の新聞、HP等に記事、写真が掲載されることがあります。どうぞご了承ください。

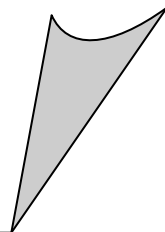
会場内での飲食は禁止されております。ご協力お願いいたします。

宿泊施設情報【石垣市 10/18(土)・10/19(日)の2泊】

南の美ら花 ホテル ミヤヒラ	
外観	
住所	〒907-0012 沖縄県石垣市美崎町 4-9
HP	http://www.miyahira.co.jp (中文繁体) http://www.japanican.com/tw/hotel/detail/8724002/?ty=rsv
TEL/FAX	0980-82-6111 / 0980-83-3236
アクセス	石垣港から徒歩1分 バスターミナルから徒歩1分
周辺地図	
朝食	あり(10/19・20朝食分) 会場: レストラン トレアドール
館内設備 (抜粋)	レストラン ラウンジ カラオケルーム 会議室 売店 自動販売機 コインランドリー(有料) クリーニングサービス ファックス送信可 マッサージサービス モーニングコール 宅配便 等
部屋設備・ 備品(抜 粋)	テレビ 電話 湯沸かしポット お茶セット 冷蔵庫 ドライヤー ズボンプレス ャー(貸出) 電気スタンド アイロン(貸出) 石鹸(固形) ボディーソ ブ リンスインシャンプー 入浴剤 ハミガキセット カミソリ シャワーキャ ップ くし タオル バスタオル くつろぎ着 スリッパ 金庫 等

南の美ら花 ホテル ミヤヒラ HP より作成

MEMO

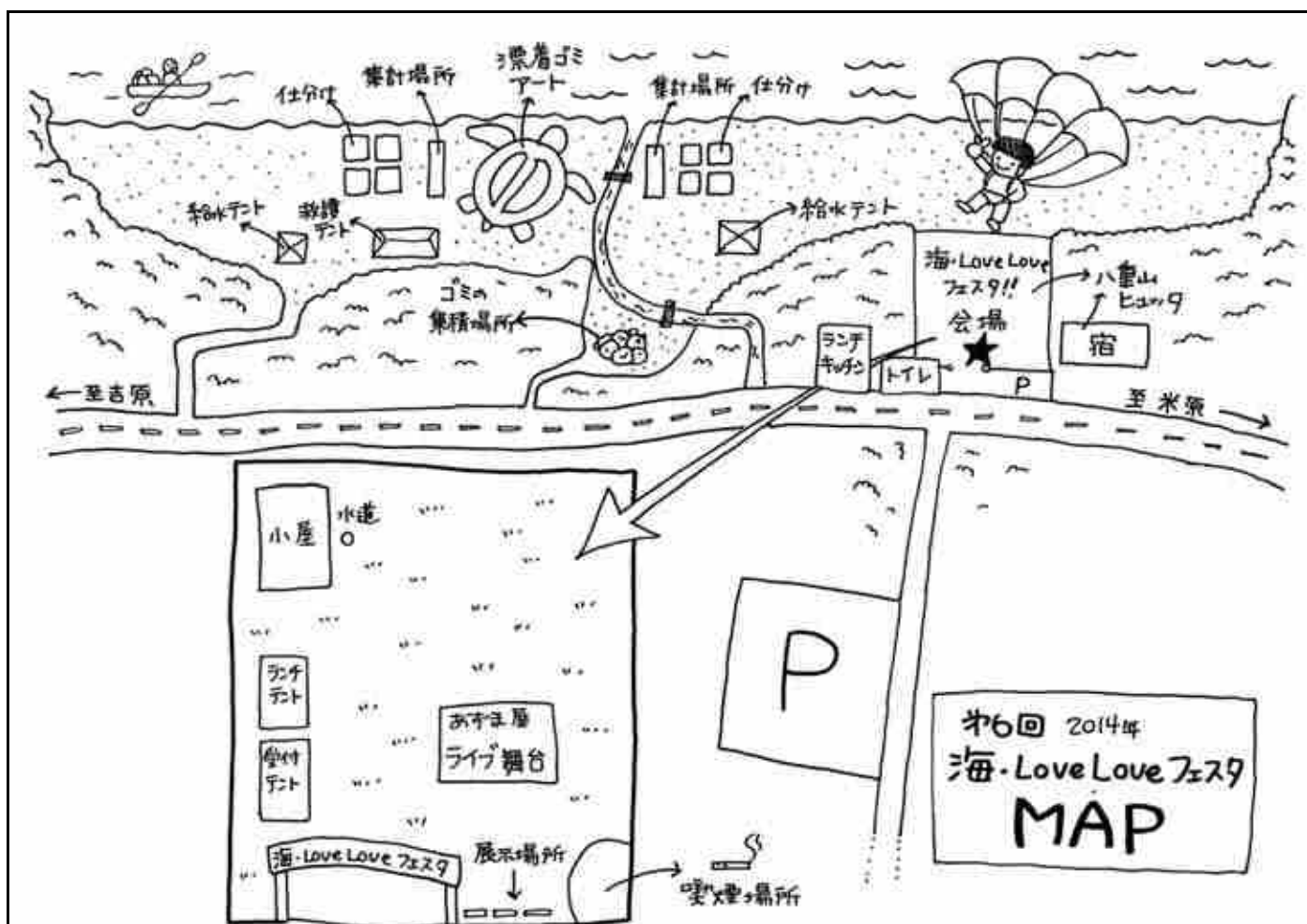


10/19 の開催内容

- 海 Love Love フェスタ
- 沖縄県の環境教育・普及啓発の取組紹介

海 Love Love フェスタ【9:00～14:00】

海 LoveLove フェスタ in 石垣島 2014 会場案内（会場：吉原ヒュッタ海岸）
海岸の位置は目次の1ページ前にある「石垣島 MAP」でご確認ください。



海 LoveLove フェスタ in 石垣島 2014 チラシ(表)

第6回

海・LoveLoveフェスタ

in 石垣島 2014

～島が泣いている！なくそう漂着ごみと不法投棄～

ゴミは捨てるものじゃなく、
拾うものだよ。

10月19日 日

吉原ヒュッタ海岸

- ビーチクリーン
- みんなで作ろう海ゴミアート
みんなで拾ったゴミを集めてアートにしよう！
大塚勝久氏によるパラグライダー空撮
- ランチ&ミニライブ

9:00 受付スタート
9:30 開会式
10:00 ビーチクリーン・海ゴミアート作成・撮影
12:00 ランチ、海・Loveにいふあいゆミニライブ、閉会式
14:00 終了

*無料バスがあります！詳しくは裏面をご覧ください。

できるだけバス
で来てね！

ライブ出演
★マーレース★ UcoCa 山根麻以

MYはし、MYスプーン、
とんぷり、水筒などを持っ
てきてね。軍手と靴も忘
れずにね！
(サンダルは危険だよ)

海・Loveフェスタ 2014 実行委員会
事務局：080-8495-2009 (中川) / 090-3657-0420 (三原) / 090-1945-4003 (佐藤)

海 LoveLove フェスタ in 石垣島 2014 チラシ (表)

海・Love Love フェスタ in 石垣島 2014

～島が泣いている！なくそう漂着ごみと不法投棄～

2014.10.19

イベント趣旨

青い空、青い海、白い砂浜。南国にふりそそぐ灼熱の太陽。日本唯一の亜熱帯性海洋性気候に育ち緑の山々と動植物、エメラルドグリーンに輝く美しい珊瑚礁の海を求めて世界中から多くの人々が訪れる石垣島。しかし、「島はない」「心ない」者たちによる家庭ごみや産業廃棄物などの不法投棄や減ることのない漂着ごみに陥ったりは「島が好き」「海が好き」な人々に賛同を求め、志を一つに行動を起こすことで、きれいな砂浜やきれいな自然環境を取り戻したい。そして、この恵まれた豊かな自然環境が世界に誇る永遠の宝であるということをも全ての市民が認識し、共有の財産として守るための市民運動の一つとして、誰もが気軽に始めることができまどーチグリーンと不法投棄やポイ捨て防止運動の輪を少しでも広げ、この素晴らしい自然環境を未来の子どもたちの為に大切に守り継承していくことを目的とする。

アクセス



★無料送迎バス★

- 行先 総合体育館前：午前8:30
- 帰路 古原ヒュッパビーチ前：午後2:30/3:00

参加条件

- ①海・Loveフェスタの趣旨に賛同したもので。
- ②全てボランティア活動ですので会場内外で発生した如何なる事件、事故、負傷等については、実行委員会は一切責任を負いませんので参加者の責任において対応していただきます。
- ③未就学児や児童生徒の参加は安全運営を計る為必ず保護者同伴でお願いします。
- ④会場内外において他の参加者のご迷惑になる行為を行ったり、実行委員会役員の指示に従わない方については、強制的に退場させていただきます。
- ⑤会場内には、花火等の火薬類やその他の危険物及び法律で禁止されている物、動物（介助犬を除く）を持ち込むことは一切禁止いたします。
- ⑥必ず手荷物や貴重品は、参加者ご自身の責任において管理をお願いします。
- ⑦車でご来場の方は、実行委員会指定の仮設駐車場をご利用下さい。
- ⑧道路上での違法駐車や近隣住民への迷惑となる行為は絶対におやめ下さい。
- ⑨会場周辺の自然植物を傷つけたり、採集は一切禁止いたします。
- ⑩観望の際は、必ず観望エリアでお願いたします。観望エリア以外でのフイターやマツチのご使用は一切禁止いたします。
- ⑪収集したゴミは、係員の指導のもと必ず分別して、指定の場所にごまとめてください。
- ⑫本イベントは、雨天決行です。天災等のおやむを得ない理由により中止になる場合は、FMラジオ等で広報いたします。

ご協力よろしくお願いたします。



分別一覧（海 LOVE ネットワーク事務局 提供）
 当日の分別作業の参考にしてください。

<p>袋に入れないもの 請別袋放入</p> <p>ゴミ袋に入らない 大きさのものはそのまま</p>  <p>大きい発泡スチロール 大的泡沫聚苯乙烯 大きなブイ 大的浮標 大量のロープ 大量的繩</p>	<p>飲料缶</p> <p>缶は缶のみで一袋</p> 	<p>ペットボトル プラスチック</p> <p>ペットボトルのみで一袋</p> 	<p>発泡スチロール 泡沫聚苯乙烯</p> <p>発泡スチロールのみで一袋</p>  <p>大きいものは袋に入れないで そのままOK!!</p>
<p>ビン 瓶</p> <p>ビンはビンのみで一袋</p>  <p>割れているものは別袋!</p>	<p>電球・蛍光灯 電燈泡・熒光燈</p> <p>電球や蛍光灯のみで一袋</p>  <p>割れているものは別袋!</p>	<p>漁具 漁具</p> <p>小さいブイやロープなど</p> <p>ブイはブイのみ ロープはロープのみ その他漁具（エサカゴなど）</p> 	<p>大型ブイ 大的浮標</p> <p>請別袋放入 袋に入れない 小さいブイはブイだけで袋に入れる</p>  <p>大きいブイはそのまま</p>
<p>もやす 燃焼的垃圾</p>  <p>家庭ごみと同じ</p>	<p>ワレモノ 破碎的东西</p> <p>電球・蛍光灯・ガラスの割れている物を一袋にまとめる</p> 	<p>もやさない 不燃焼的垃圾</p>  <p>ウレタン(黄色)やプラスチック(家庭ごみでは資源ごみになる)もこちらへ</p>	<p>危険(キケン) 危險的东西</p> <p>さわらずスタッフへお知らせください</p>  <p>医療系廃棄物(注射器・薬びんなど) 引火性液体(ガソリン・重油など) 動物死骸(海があるもの・鳥など)</p>

沖縄県の環境教育・普及啓発の取組紹介【14:30～17:00】

・取組紹介1 「この先海です」プロジェクト

Introduction of Activities 1 : “OCEAN AHEAD” Project

「この先、海です」プロジェクトは、NPO 法人海の自然史研究所が考案した、オリジナルの学習プログラムです。

“OCEAN AHEAD” Project is an original educational program created by the NPO Marine Learning Center.



プロジェクト設計の背景

雨水溝は、雨天時に道路に流れ出る雨水を集めて流すための溝で、私たちの身の回りにある舗装された道のほとんどに設置されています。ところが、実際に雨が降ると、雨水だけではなく道路にあるゴミも一緒に雨水溝に流れ込んでいきます。雨水溝を通る水は、通常、水処理施設を通ることなく、海や川に直接流す仕組みになっているために、車を洗車したときの洗剤や、路上にこぼれたオイルなど道路に残っている汚れ、さらに、道路へポイ捨てされたゴミや直接取水口に投げ込まれたタバコの吸殻などもすべて雨水と一緒に雨水溝を流れていくのです。この事実をできるだけ多くの人に知ってもらい、地域の水環境、川や湖や海の美化を地域の人たちがすすめることができるようなプロジェクトを設計しました。

Background of the project design

Storm drains are ditches to collect and drain rain water that runs off the streets during rainy weathers. These drains are installed in majority of our paved streets. However, when rain falls, not only rain water but litters on the streets are also washed into the drains. Usually, water that passes through storm drains do not go through water treatment process and are discharged directly into rivers and ocean. Thus, pollutants such as detergents from car wash, spilled motor oils, trashes that had been littered on the streets, and cigarette butts that were discarded into drain inlets are also flushed into the environment along with the rain water.

We have designed this project wanting many people to know about this fact, and allow local communities to carry out the clean up of the local water environment, rivers, lakes and ocean.

プロジェクトの概要

「この先、海です」プロジェクトは、雨水溝と海をテーマとして、地域の子どもたちが地域の人たちと一緒に進めるプロジェクトです。

子どもたちは、このプロジェクトの中で、雨水溝の役目や働きを理解し、自分たちの暮らし方や行動によって直接海を汚してしまっていることがある、という事実気づきます。

そして、自分たちの意識や行動ひとつで変えられることがあることを知り、海や川の汚れを『未然に防ぐ』ことを周囲に呼びかけ、地域ぐるみで環境美化に取り組みます。さらに不特定多数の人たちへ周知するために、身近な道路にある雨水溝に、ステッカーやペイントで表示サインをつけます。

Overview of the Project

“OCEAN AHEAD” is a project on storm drains and the ocean, carried out together by the local children and citizens.

In this project, children will understand the role and function of storm drains, and recognize that our daily life style and actions can directly pollute the ocean.

Children learn that there are things that could be changed by being aware and through simple action, and by raising awareness to prevent ocean and river pollution, they will work on community clean up with the whole local community. In addition, to notify many others, they will use stickers and paints to put on signs on storm drains in the local streets.

(NPO 法人海の自然史研究所 HP <http://www.marinelearning.org/drain/index.html> より引用)

・取組紹介 2 環境教育体験

Introduction of Activities 2: Environmental Education Experience

石垣島沿岸レジャー安全協議会・役員の大堀 健司さんが取組んでいる環境教育活動内容の一部をご紹介します。

Ishigaki Island Safety Conference of Leisure on the Coast's executive director Mr. Kenji Ohori will introduce us to a part of his environmental education activity.



・川平湾の紹介

Ishigaki island's scenic spot

Kabira Bay



石垣島の観光ガイドで必ずその写真が紹介されるほど川平湾は有名で、観光客が一度は訪れたいスポットの一つです。毎年、何千人もの観光客がその美しいエメラルド色の海を一目見ようと、島の北西部にある川平湾を訪れます。そして、その期待は裏切られることはないでしょう。湾の真上にある展望台からは、訪れた人のすごい！とか、きれい！などの歓声が絶えません。

ここから見る景色はとても印象的で、しばらくその場を立ち去らずに眺めていたくなります。魅せられるのは湾だけではなく、遠くの方に目を凝らしてみると平久保や於茂登山がくっきりと見えてきてこれもまた絶景です。川平湾での遊泳は、波が強い、観光船が常に行き来するなど、安全面に問題があるため禁止されています。

Kabira Bay is probably the most photographed sightseeing spot on Ishigaki island. Positioned on the north west coast of the island, Kabira attracts thousands of tourists every year, all of whom are keen to see if the waters are truly as turquoise as guide books and advertisements promise. The good news is that people are rarely disappointed and you'll often hear exclamations of 'sugoi' (amazing) and 'kirei' (beautiful) from Japanese tourists who are enjoying the view from the observation point, which is situated just above the bay.

The view is truly impressive, and not one which you're likely to tire of quickly. It's not just the bay which is of interest; casting your eye further afield you'll be able to see Mt. Omoto clearly in the distance along with the Hirakubo peninsula which extends to the north on the other side of Ishigaki island (look closely and you may even be able to make out Mt. Nosoko's distinctive peak).

Swimming is prohibited for a number of reasons such as strong currents, jelly fish and the presence of boats which routinely ferry passengers up and down the bay.

(ishigaki-japan.com HP <http://www.ishigaki-japan.com/jp/kankou/kabira> ,
<http://www.ishigaki-japan.com/sights/kabira> より引用)

海 Love Love フェスタ打ち上げ PARTY 【10/19（日）17：00～】

案内	
会場	Natural Garden Cafe PUFFPUFF (プカプカ)
会費	前売券：1,500 円 (海 Love Love フェスタ会場で販売) 当日券：2,000 円 飲食代：別途必要
住所	〒907-0002 沖縄県石垣市真栄里 193-1
HP	http://puff2.com/ (台湾) http://puff2.com/taiwan
TEL	0980-88-7083
アクセス	ホテルミヤヒラからタクシーで約 5 分 (片道料金：約 700 円)
周辺地図	 <p>ホテルミヤヒラは、会場は赤矢印で示した場所です。</p>

<http://puff2.com/> 及び <http://tabelog.com/okinawa/A4705/A470501/47002136/> より作成

10/20 の開催内容

- ワークショップ・懇親会
- 1月ワークショップ事前協議
- 県営バナナ公園 見学

ワークショップ・懇親会【10/20(月)9:00~14:00】

会場

会場	ホテルミヤヒラ 東館2階 梯梧 (DEIGO) の間
住所	〒907-0012 沖縄県石垣市美崎町 4-9
TEL	0980-82-6111
HP	http://www.miyahira.co.jp
アクセス	石垣港から徒歩1分 バスターミナルから徒歩1分
周辺地図	
施設案内	 <p>会場は赤矢印で示した場所です。</p>

南の美ら花 ホテル ミヤヒラ HP より作成

プログラム（ワークショップ・懇親会）

（敬称略）

時間	内容
8：30～	受付 名札の裏に表示された「チーム（ハナオコゼ・ヤシノミ・オキナガレガニ）」のテーブルにお座りください。
9：00	開会 総合司会 鹿谷 麻夕（しかたに自然案内 代表）
9：00～9：10 通訳を含めて10分	ご挨拶 大浜 浩志（沖縄県環境部 環境企画統括監）
9：10～9：20 通訳を含めて10分	ワークショップ説明
9：20～10：40 （80分間）	ワークショップ開始 ファシリテータ 鹿谷 麻夕（同上） 大堀 健司（石垣島沿岸レジャー安全協議会 役員） 徳岡 春美（NPO 法人西表島エコツーリズム協会 理事） 進行、時間配分は各ファシリテータにお任せします。 休憩（約10分）を含みます。
10：40～10：50	グループ内でのまとめ
10：50～11：20	まとめ発表
11：20～11：30 通訳を含めて10分	閉会挨拶 比嘉 隆（沖縄県環境部環境整備課 課長）
11：30	閉会
11：30～11：45	休憩（及び延長対応）
11：45～12：15	1月ワークショップ事前協議
12：15～12：30	休憩（及び延長対応）
時間	内容
12：30～14：00	懇親会 司会・開会挨拶 新垣 博（沖縄県環境部環境整備課一般廃棄物班 班長） 閉会挨拶 丘明中（新北市政府環境保護局 主任秘書） 大浜 浩志（沖縄県環境部 環境企画統括監）

※ 全てに逐次通訳（日→中・中→日）がつきます。

ワークショップのチーム

名札の裏に表示された「チーム（ハナオコゼ・ヤシノミ・オキナガレガニ）」のテーブルにお座りください。

チーム / TEAM	所属	氏名	NAME
ハナオコゼ Sargassum fish 	●しかたに自然案内 代表	鹿谷 麻夕	Mayu Shikatani
	沖縄県環境部環境整備課 課長	比嘉 隆	Takashi Higa
	久米島ホテルの会 事務局長	佐藤 直美	Naomi Sato
	水中写真家 / 有限会社ちむちゅらさ 代表取締役	横井 謙典	Kensuke Yokoi
	石垣ピーチクリーンクラブ 代表	佐藤 紀子	Noriko Sato
	新北市政府環境保護局環境衛生管理科 技佐	林晉毅	Lin Chin-Yi
	新北市金山區清潔隊 隊長	高櫻芬	Kao Ying-Fen
	社團法人中華民國荒野保護協會 海洋守護專員	胡介申	Hu Chieh-Shen
	台湾環境資訊協會 專案執行	周昭蕊	Chou Chao-Jui
	臺南社區大學 / 海灘廢棄物監測社 資深志工	莊勝凱	Chuang Sheng-Kai
	【通 訳】 日本エヌ・ユー・エス株式会社	江俊賢	Chiang Jing-Hsien
ヤシノミ coconut 	●石垣島沿岸レジャー安全協議会 役員	大堀 健司	Kenji Ohori
	沖縄県環境部環境整備課一般廃棄物班 班長	新垣 博	Hiroshi Arakaki
	一般社団法人 JEAN 事務局長	小島 あずさ	Azusa Kojima
	波の上みそら公園 / 那覇シーサイドパーク マリン担当マネージャー	加藤 淳一	Junichi Kato
	NPO法人 宮古島 海の環境ネットワーク 共同代表理事	春川 京子	Kyoko Harukawa
	新北市政府環境保護局水質保護科 助理環境技術士	蘇士陽	Su Shih-Yang
	新北市萬里區清潔隊 隊長	徐誌宏	Hsu Chih-Hung
	國立海洋科技博物館展示教育組 助理	廖運志	Liao Yun-Chih
	台湾環境資訊協會 專案經理	溫于璇	Wen Yu-Hsuan
	【通 訳】 有限会社 オフィスアイシーシー	安見 雅姿	Masashi Yasumi
オキナガレガニ Gulf-weed Crab 	●NPO法人 西表島エコツーリズム協会 理事	徳岡 春美	Harumi Tokuoka
	沖縄県環境部環境整備課一般廃棄物班 主任	國場 豊	Yutaka Kokuba
	NPO法人 海の自然史研究所 代表理事兼主任研究員	藤田 喜久	Yoshihisa Fujita
	海LOVEネットワーク事務局 実行委員会	笠原 利香	Rika Kasahara
	新北市政府環境保護局環境衛生管理科 股長	陳彥伶	Chen Yen-Ling
	新北市政府環境保護局循環資源科 股長	鄧筱光	Teng Hsiao-Kuang
	新北市新店區清潔隊 隊長	曾士豪	Tseng Shih-Hao
	財団法人黒潮海洋文教基金会 主任	賴威任	Lai Wei-Jen
	臺南社區大學 / 海灘廢棄物監測社 社長	戴雅婷	Tai Ya-Ting
	【通 訳】 有限会社 オフィスアイシーシー	神里 麗珠	Reishu Kamisato
オブザーバー	沖縄県環境部 環境企画統括監	大浜 浩志	Hiroshi Ohama
	新北市政府環境保護局 主任秘書	丘明中	Chiou Ming-Jong
	【通 訳】	新城 安哲	Yasutetsu Araki

各チームのファシリテータ (Facilitator)

2015年1月開催の交流事業内容の事前協議【10/20(月)11:45~12:15】

MEMO

「沖縄・台湾 漂着ごみ対策交流事業」にご参加いただき、ありがとうございました。

移動の予定

時間	内容
15:00	ホテルミヤヒラ 発
15:20	県営バナナ公園 着
16:00	県営バナナ公園 発
16:30	新石垣空港 着

県営バナナ公園 見学【10/20（月）15:20～16:00】

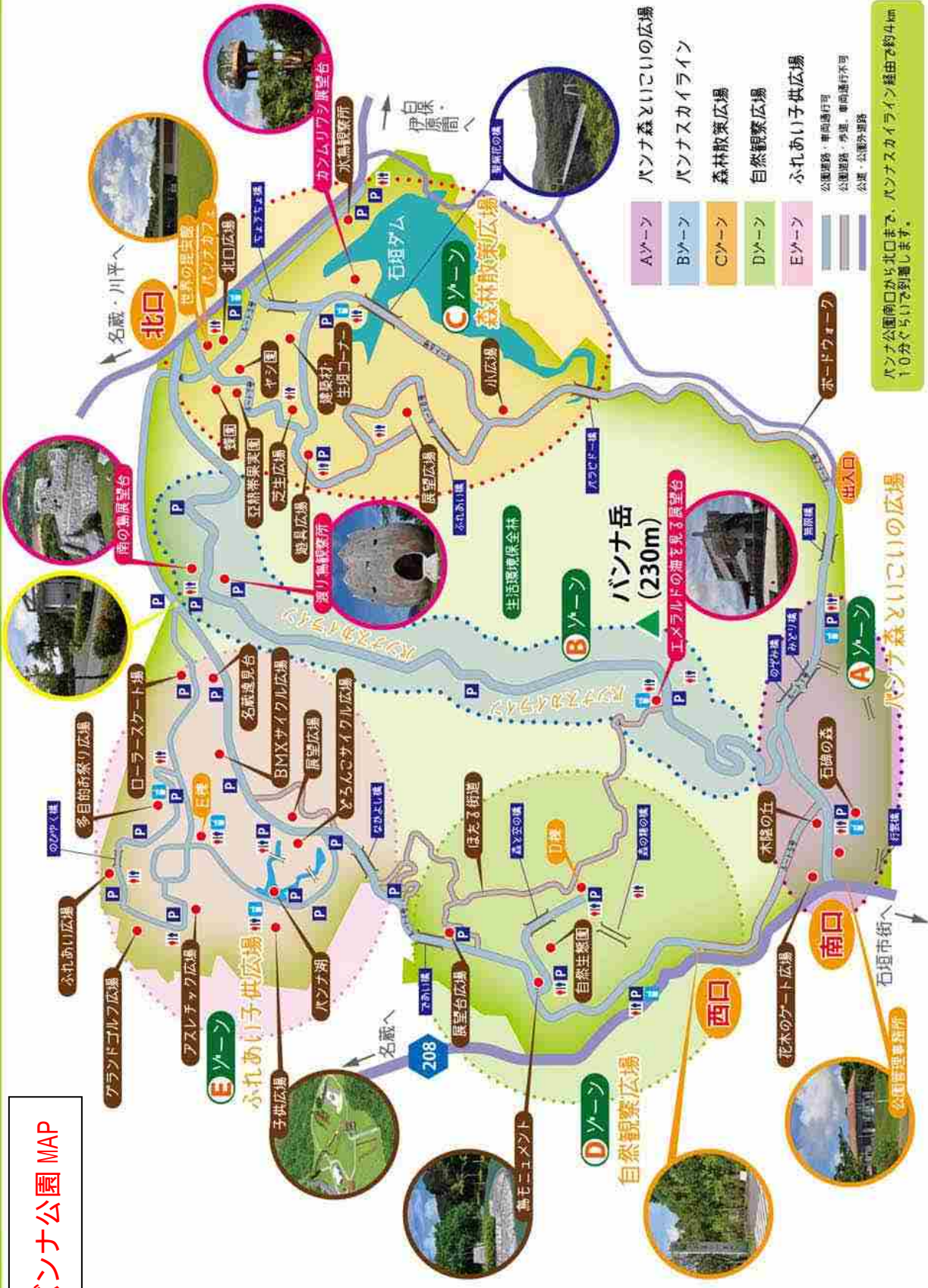
日本最南端の森林公園であるバナナ公園は、石垣市街地の北方にそびえる標高 230m のバナナ岳周辺の広大な自然環境下にあります。山の地形を生かした広場、散策路には亜熱帯性気候風土を感じさせる多くの珍しい植物が観察できます。また鳥類の保護・繁殖など、多くの市民が自然科学に興味を持ち、自然を楽しめる場を提供しています。



map

banpa park

バナナ公園 MAP



- Aゾーン
- Bゾーン
- Cゾーン
- Dゾーン
- Eゾーン
- バナナ森といこいの広場
- バナナスカイライン
- 森林散策広場
- 自然観察広場
- ふれあい子供広場
- 公園道路・単向通行可
- 公園道路・歩道・車向通行不可
- 公園・公園外道路

バナナ公園南口から北口まで、バナナスカイライン経由で約4km
1.0分ぐらいいで到着します。

宿泊施設情報【那覇市 10/20（月）の1泊】(台湾側参加者)

ホテル ユクエスタ	
外観	
住所	〒900-0034 沖縄県那覇市東町 5-19
HP	http://www.yuquesta.jp/
TEL/FAX	098-866-0600 / 098-866-6524
アクセス	沖縄都市モノレール（ゆいレール）旭橋駅下車、徒歩1分 那覇空港からホテルまでご案内します。
周辺地図	
朝食	あり（10/21 朝食分） 会場：トラットリア・ディ・マーレ
館内設備 （抜粋）	館内設備 レストラン ティーラウンジ 自動販売機 コインランドリー（有料） モーニングコール マッサージサービス（有料） クリーニングサービス（有料） ファックス送信（有料） レンタルパソコン（有料） 宅配便（有料） 等
部屋設備・ 備品	テレビ 衛星放送 電話 インターネット接続（無線 LAN 形式） 湯沸かしポット お茶セット 冷蔵庫 ドライヤー スポンジプレッサー 電気スタンド（貸出） アイロン（貸出） 個別空調 洗浄機付トイレ ボディーソープ シャンプー リンス ハミガキセット カミソリ ブラシ タオル パスタオル ナイトウェア スリッパ パジャマ

ホテル ユクエスタ HP より作成

講演資料

- 講演 1 沖縄県の取り組み
- 講演 2 台湾の取り組み
- 講演 3 海 LoveLove フェスタ概要説明

講演 1 沖縄県の取り組み 「沖縄県の漂着ごみ対策について」



■沖縄県の主な取り組み項目

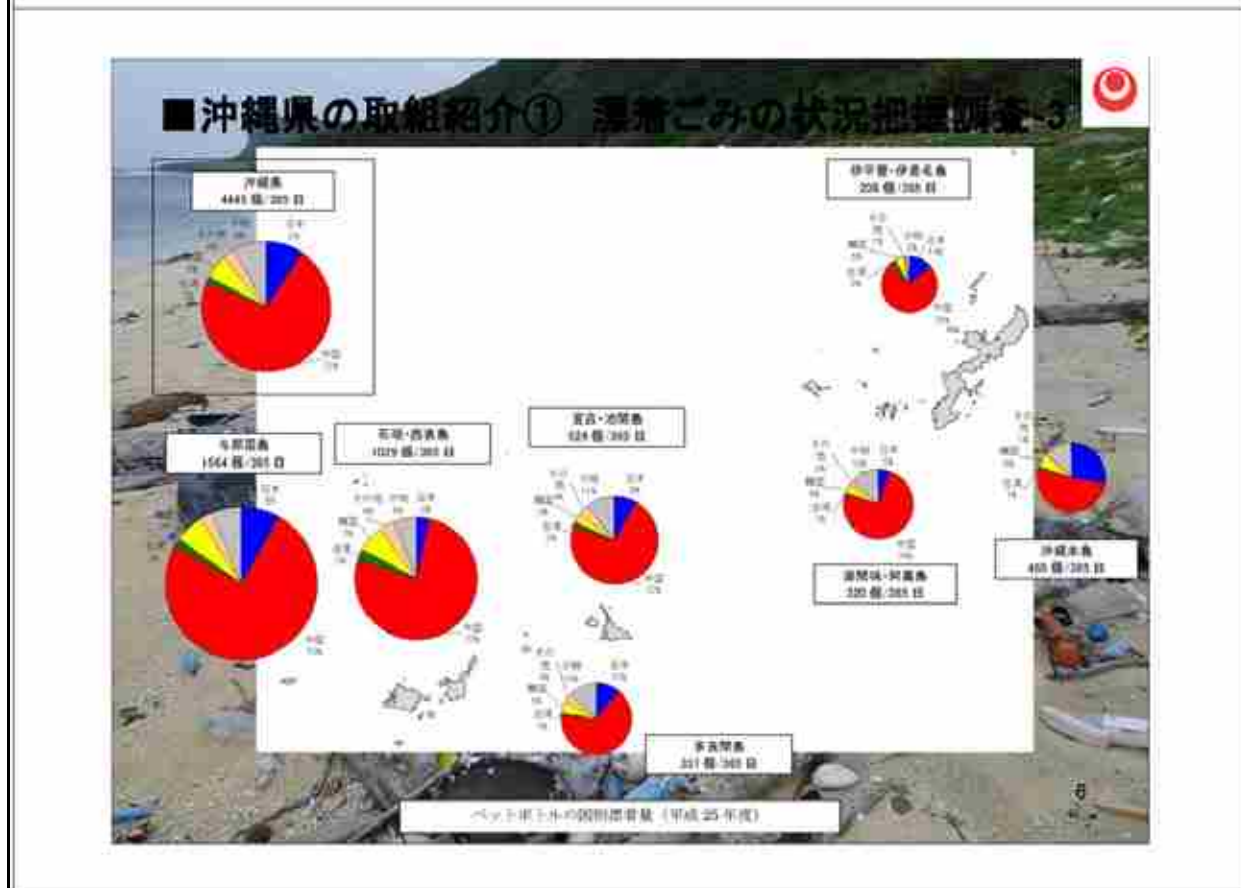
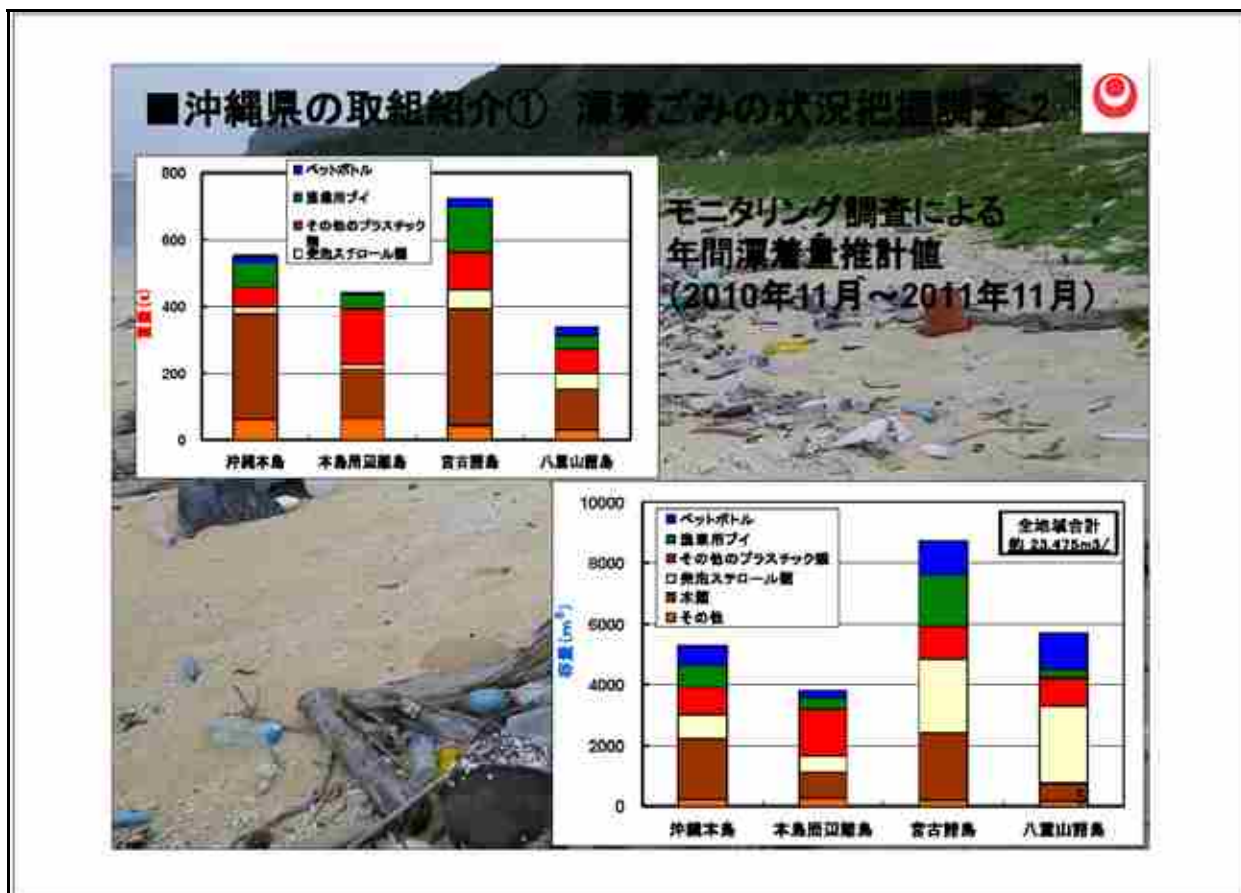
- ① 漂着ごみの状況把握調査
- ② 情報収集整理と対策検討業務
- ③ 県内からの発生抑制に係る普及啓発
- ④ 漂着ごみの回収事業

↑
 専門家、行政機関、民間
 団体等から構成される協
 議会による意見を反映

↓
 成果をまとめた資料の
 作成と公表

■沖縄県の取組紹介① 漂着ごみの状況把握調査①

1. 現存量把握調査 (2010～2017年7月までに3回実施)
 県内海岸を一斉に目視調査し、現存する漂着ごみ量を把握
2. リング調査 (2010年より継続実施中)
 県内の23海岸で定期的な漂着ごみの回収を行い、季節ごと
 年間の漂着量を把握



■沖縄県の取組紹介② 情報収集整理と対策検討業務

- ・ 効率的な回収処理に係る調査検討(2009～2012)
 - 漂着ごみの回収処理手法検討
 - 離島地域の小型焼却炉導入に係る調査研究
- ・ 再資源化に係る調査検討(2012～2014)
 
- ・ 関係者の役割分担と相互協力による体制づくり(2011)
 

■沖縄県の取組紹介③ 発生抑制に係る普及啓発①

NPO等民間団体の関係者を兼ね、発生抑制に係る普及啓発を検討するためのワーキンググループを組織(2010年)

沖縄県内で必要な普及啓発教材の作成と活用方法の検討(2010-2011年)

作成した主な教材の例【プレゼン形式】 【ポスター】



海ごみ15
海の漂着ごみを中心15の話



ごみからできる15の宝

ワークショップの開催、人材育成活動、海外交流事業 等(2013-2014年)

■沖縄県の取組紹介③ 発生抑制に係る普及啓発-2

普及啓発に係る教材作成や活動内容についての協議

漂着ごみ対策の問題点を話し合うワークショップの開催

海岸清掃が殆ど行われていない地域へ出向いて、清掃方法のレクチャーや持続的な取組のための意見交換会

■沖縄県の取組紹介④ 海岸漂着物等の回収事業

2010～2012年にかけて、民間業者への委託事業により県内全域で2,110 ton(14,882m³)の漂着ごみを回収。漂着ごみの回収に係る作業費は延べ11,650万大。

■沖縄県内の民間団体の主な取組み① 海岸清掃活動

- ① 住民団体による定期的な清掃活動
- ② 学校の環境教育を兼ねた清掃活動
- ③ 漂着ごみ調査を兼ねた清掃活動
- ④ ダイビング業界による海中清掃活動 など

■沖縄県内の民間団体の主な取組み② 環境教育・普及啓発

- ① 環境教育・研修プログラムの開発と実施
- ② 地域向けの環境教育、学校への出前授業
- ③ 講習会・勉強会等の開催
- ④ 環境とごみに係る教材の作成
- ⑤ 海洋プラスチックごみの削減 啓発

■沖縄県内における主な課題の整理①



【回収・処理に係る課題】

- ・ 殆どの地域(島)では、漂着ごみの処理施設がない。
- ・ 有害重金属を含んだプラスチック類が漂着していることが確認されている。
- ・ 貴重な動植物等の生態系への影響が指摘されている。
- ・ 人口の少ない地域では、海岸清掃活動を行う人が足りない。
- ・ 漂着ごみ対策を担当する行政側の人材不足。
- ・ 現時点では、海岸清掃を行う上で行政と民間の連携が不十分である。



【対策】

- ・ 回収処理体制の強化と必要な予算化。
- ・ 有害な漂着ごみに係る情報収集整理と対策検討
- ・ 民間団体と行政機関の連携の強化。

13

■沖縄県における主な課題の整理②



【発生抑制対策に係る課題】

- ・ 県内の漂着ごみの殆どが海外由来であり、発生源対策が困難である。
- ・ 海外由来だけでなく、県内からのポイ捨てや不法投棄ごみも漂着ごみとなり、特に人口の多い地域では地元からの漂着ごみが多くなる傾向がある。

【普及啓発・環境教育等に係る課題】

- ・ 漂着ごみの処理ができない地域では、ボランティア清掃活動や普及啓発・環境教育活動が少なく、人材が育たない。
- ・ 沖縄県は多くの島々から構成されており、地域間の情報共有や連携がし辛い。
- ・ 子供だけでなく、大人に対する普及啓発・環境教育が必要である。
- ・ 海岸清掃活動等の情報発信と共有が十分とは言えない状況にある。




【対策】

- ・ 漂着ごみ対策に係る人材育成と確保が必要。
- ・ 漂着ごみに係る様々な問題と対策の情報共有・普及啓発を進める必要がある
- ・ 漂着ごみ問題は、沖縄県内だけの問題ではないため、近隣諸国との情報共有と連携を踏まえた対策を進めることが有効であると判断される。



■ 講演 2 台湾の取り組み 「新北市海岸環境維護現況説明」



新北市政府&沖繩縣政府 103年度海洋廢棄交流活動



新北市海岸環境維護現況説明

簡報人：

103年10月18日

大綱

- 引言
- 組織架構
- 新北市海岸線現況
- 海洋廢棄物現況
- 法規及管理策略
- 海岸線認養管理
- 歷年淨灘活動成果



2

引言

- 新北市與沖繩縣雙方於漂流物現況、漂流物帶來的問題與解決對策進行協商
- 雙方共同推動防止漂流物產生之對策
- 新北市政府環境保護局
- 沖繩縣政府環境部

3

環保機關組織架構

- 中央主管機關：
行政院環境保護署
- 地方機關：
新北市政府環境保護局

新北市政府環境保護局組織系統圖



新北市海岸線現況



- 位於沖繩縣石垣島東方約200公里
 - 海岸線共9區，總長約122公里
 - 東部多岩岸、西邊多砂岸



海洋廢棄物現況



- 2012~2013年間調查新北市沙岸、岩岸與港岸等類型之6處海岸
- 研究成果：
 - 秋季垃圾量最多
 - 岩岸垃圾數量高於沙岸及漁港
 - 組成以塑膠類最多(佔65.89%)，其次為紙類(佔11.26%)
 - 來源以海岸遊憩與日常生活最多(75.48%)，其次為船隻活動與漁業行為(16.07%)，而衛生醫療用品最少(0.04%)

法規及管理策略



海洋相關法規概況

- 海洋污染防治法
 - 海域來自陸地、船舶、海上工程等之污染防治
- 廢棄物清理法
 - 一般廢棄物於土地或建築物與公共衛生有關者，由所有人、管理人或使用人清除
- 各相關單位依權責維護海岸環境清潔
- 環保單位立場為協助處理和稽查管制

海岸線認養管理



- 海岸線認養推動
 - 頒布「新北市政府環境保護局推動認養海岸實施要點」
 - 目前列管35處海岸線提供認養



認養單位頒獎



海岸認養簽署

認養情況	處(長度)
已認養	18 (16,500m)
未認養	17

海岸線認養管理



實施要點概要

- 認養單位
 - 法人團體
 - 機關或學校
- 認養方式
 - 提供經費
 - 派員清理
- 簽署認養契約書
- 本局相關協助
 - 提供清理工具
 - 協助清運垃圾

新北市政府環境保護局推動認養海岸實施要點

103年3月20日新北環地字第1030000000號函

一、新北市政府環境保護局《以下簡稱本局》為鼓勵法人、團體、機關及學校《以下簡稱認養人》認養新北市政府海岸，以協助海岸之清潔維護，特訂定本要點。

二、本要點所稱之海岸，指本市濱海區計內陸文化管轄海岸區段，每段長度以五百公尺為限，並應註明地點。

三、認養人以提供清理經費或派員清理二種方式為之。

認養條件內，每月應定期清理維護認養海岸之次數如下：

(一) 海岸長度在五百公尺，每月至少二次以上。

(二) 海岸長度在五百公尺以上，每月至少一次以上。

四、認養人應提交申請書，送經本局及內政部海岸管理委員會核可後，簽訂認養契約書。

認養人應於認養之區段內認養契約書內容，應包括認養海岸之範圍。

五、本局協助事項如下：

(一) 提供海岸清理所需清理工具《如垃圾袋、手套等》。

(二) 協助清理經費之清理人員費。

(三) 協助認養人進行認養海岸之巡視及維護之清理工作。

(四) 其他必要協助事項。

歷年淨灘活動成果



- 每年舉辦春秋兩季大型聯合淨灘活動
 - 邀請企業團體、學校、民間社團或環保志工等共同參與淨灘活動
 - 除設置主場地，沿海9區共同辦理

年度	春季	秋季
2010	金山	三芝
2011	金山	萬里
2012	八里	三芝
2013	萬里	貴寮
2014	金山	萬里



歷年淨灘活動成果

- 2013年度春季 - 「齊心淨力 珍愛地球」活動
 - 約2,400人參加
 - 共清除一般垃圾19.6公噸、資源回收垃圾1.8公噸

- 2013年秋季 - 「陸海空齊淨灘」
 - 約2,000人參加
 - 共清除一般垃圾33.4公噸、資源回收垃圾1公噸、汽車保險桿和來自「浙江」的塑膠垃圾
 - 主軸：山壁岩岸和海底廢棄物一併清除



歷年淨灘活動成果

- 2014年春季淨灘
 - ◆ 主題「我的環保年代」
 - ◆ 9區共約3,000人
 - ◆ 環境教育
 - 邀請NPO進行解說
 - ◆ 提升民眾環保意識
 - 宣導減少使用一次性商品，現場不提供瓶裝礦泉水



海洋廢棄物宣導海報



廢棄物分類



環境教育解說

歷年淨灘活動成果

● 2014秋季淨灘

- 主軸：跨國攜手擁抱海洋 I Sea You
- 海洋環境教育體驗—牽苔
- ICC淨灘活動：海洋廢棄物分類統計
- 主要廢棄物來源為海岸遊憩與日常生活類，其中又以飲料杯和寶特瓶及瓶蓋等最多



歷年淨灘活動成果

各單位海岸維護成果

● 統計2013年海洋廢棄物清理成果：

- 動員32,853人次
- 清理長度約1,358公里
- 資源垃圾約50公噸
- 一般垃圾約836公噸

2013年海岸維護成果統計			
項目		總計	
清理總次數(次)		1,531	
清理地點總數(處)		1,222	
參加人數(人)	環保人員	3,520	32,853
	僱工人數	3,308	
	環保義工	3,424	
	國軍海巡	90	
	企業學校	11,045	
	其它	11,466	
資源垃圾(公噸)	保特瓶	12.21	50
	鐵罐	5.16	
	鋁罐	1.02	
	玻璃瓶	26.28	
	廢紙	5.31	
非資源垃圾(公噸)	竹木	387.38	836
	保麗龍	17.52	
	漁網漁具	33.30	
	其它	397.26	

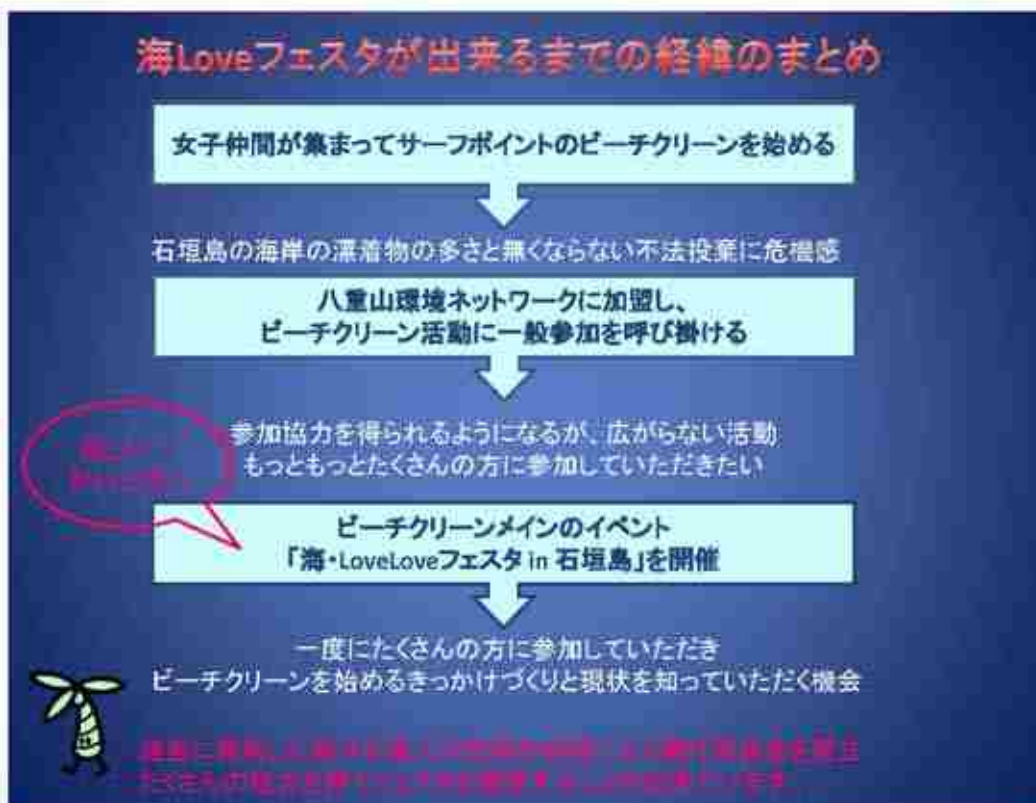


講演 3 海 LoveLove フェスタ概要説明 「海 Love ネットワーク事務局」について



海Loveネットワーク事務局の取り組み

- 『海 Love Love フェスタ in 石垣島』開催
- ビーチクリーン情報の共有と提供
- ビーチクリーンのサポート
- 「How to ビーチクリーン」等チラシの作成



海・Love Loveフェスタ in 石垣島

♪ 南国のビーチを舞台に開催！



海・Love Loveフェスタ in 石垣島

10月28日

ビーチクリーン&分別

アート制作&撮影

ランチ&ライブ

なくそう漂着ゴミと不法投棄

事前打ち合わせ・場所選定(地域への協力依頼)

地域の方や公民館長さんに会う。
まずは、お友達からか

中心メンバーが集まり
事前に場所の選定等
打ち合わせ

Step 1.2 事前打ち合わせ・下見(場所を決める)



趣旨に賛同した仲間が集結♪実行委員会設立



- スケジュール
- 会場確認
- 予算決めと助成金申請
- 関係各所へ協力依頼
- ポスター・チラシ制作
- 借用物手配
- 必要物品手配と製作
- マスコミ広報・記者発表
- 班決め、班会議
- etc...

実行委員会
目的を明確にし、ただ楽しいだけの
イベントに終わらせない



Step 3. 実行委員会を立ち上げる



班毎に準備

- 運営本部
- ビーチクリーン班
- 受付・案内班
- 安全対策班
- 会場設営班
- アート制作班
- 記録班
- ボランティアガイド班
- ランチ班
- 救護班



Step 4. 準備





海ゴミアート製作&空撮

分別したゴミやゴミ

アートの周りは参加者

パラグライダーから空撮

拾い集めた海ゴミと参加者でつくるアート作品

Step 5. フェスタ開催

バケツリレー

空撮が終わったら

バケツリレーで集積場所までゴミを運ぶ

連帯感◇

◆ゴミは石垣市役所が回収◆

Step 5. フェスタ開催





第6回 海・Love Loveフェスタ in 石垣島 2014

いよいよ明日開催！

ご清聴ありがとうございました 謝謝你聽



3.1.2 石垣市における交流事業 配布資料「沖縄・台湾漂着ごみ対策交流事業 参加民間団体のご紹介 2014年10月 石垣島」(沖縄県参加者用 日本語版)

沖縄・台湾漂着ごみ対策交流事業 参加民間団体のご紹介



目 次



●沖縄県側参加団体



特定非営利活動法人 海の自然史研究所 《非営利社団法人 海洋自然史研究所》	1
一般社団法人 J E A N 《一般社団法人 JEAN》	2
那覇クリーンビーチクラブ 《那覇浄灘倶楽部》	3
久米島ホテルの会 《久米島螢火蟲會》	4
水中写真家／有限会社ちむちゅらさ 《水中撮影家／有限公司CHIMU-CHURASA》	5
恩納村「海をきれいに！」実行委員会（分科会） 《恩納村「讓大海變乾淨！」執行委員會（分科會）》	6
しかたに自然案内《鹿谷自然嚮導》	7
波の上うみそら公園／那覇シーサイドパーク 《波之上海空公園／那覇SEA SIDE公園》	8
特定非営利活動法人 宮古島 海の環境ネットワーク 《非営利社団法人 宮古島海洋環境網》	9
IBCC石垣ビーチクリーンクラブ 《IBCC石垣浄灘倶楽部》	10
海LOVEネットワーク事務局 《海LOVE網事務局》	11
石垣島沿岸レジャー安全協議会 《石垣島沿岸休閒安全協議會》	12
特定非営利活動法人 西表島エコツーリズム協会 《非営利社団法人 西表島生態旅遊協會》	13

● 台灣側參加團體



台灣清淨海洋行動聯盟	14
財團法人 黑潮海洋文教基金會	15
國立海洋科技博物館	16
台灣環境資訊協會	17
社團法人 中華民國荒野保護協會	18

● 沖縄県側参加団体



特定非営利活動法人 海の自然史研究所 代表理事兼主任研究員 藤田 喜久		
連絡先	E-mail	info@marinelearning.org
	URL	http://www.marinelearning.org/
発足年	2005 年	
活動地域	沖縄県／日本	
活動紹介	<p>NPO 法人 海の自然史研究所は、沖縄県や日本全国において、海洋教育や自然科学研究に関する活動を行っています。</p> <p>環境教育については数々のプログラムを有していますが、海岸漂着ゴミの問題については、「この先、海です。プロジェクト」を沖縄県内および全国にて実施しています。「この先、海です。プロジェクト」は、道路にある雨水溝から海に流れ出るゴミや汚れについて学び、それを未然に防ぐことで、きれいな海を守ろうとするプロジェクト活動のことで、主に子ども達を対象とした環境教育プログラムで、まず、雨水溝の役目や働きを理解し、自分たちの暮らし方や行動によって直接海を汚してしまっていることがある、という事実気づいて貰います。そして、自分たちの意識や行動ひとつで変えられることがあることを知り、海や川の汚れを『未然に防ぐ』ことを周囲に呼びかけ、地域ぐるみで環境美化に取り組むことを促します。さらに、身近な道路にある雨水溝にステッカーやペイントで表示サインをつけたり、ポスターを作成することで、この問題を不特定多数の人たちへ周知しています。</p>	
		
海を学ぶ体験型科学教育カリキュラム 「MARE」実施風景		「この先、海です。」ペイント

一般社団法人 JEAN 事務局長 小島 あずさ			
連絡先	E-mail	cleanup@jean.jp	
	URL	http://www.jean.jp/	
発足年月	1990年9月	団体人数	事務局7名
活動地域	日本全国		
活動紹介	<p>春と秋に、全国規模のクリーンアップキャンペーンを実施しており、参加ボランティアは3万人を超えます。春は身近な場所のごみを拾ってきれいにする活動、秋は国際海岸クリーンアップ（ICC）として、世界中の100を超える国や地域で一斉に行われる国際的なごみ調査を兼ねたクリーンアップを行います。日本でのICCを推進する傍ら、【海ごみサミット】や【海ごみプラットフォーム】などを開催して、海洋ごみ問題の対策を進めるための意見交換や情報の共有に努めています。</p> <p>また、写真パネルやDVDなどの海洋ごみに関する資料や教材の制作や貸出、講演や出前授業、ワークショップの実施など、普及啓発と環境教育にも取り組んでいます。</p> <p>政策提言活動にも力をいれており、2009年7月の海岸漂着物処理推進法の制定に寄与しました。</p> <p>近年では、東日本大震災の津波によって太平洋に流出した漂流物の問題について、北米への現地調査や、米国・カナダなどの関係者との意見交換、日本国内での報告フォーラムなどを実施しています。</p>		
			
海ごみサイエンスカフェ (那覇市銘刈小)		貸し出し展示物 漂着物のトランク・ミュージアム	

那覇クリーンビーチクラブ 代表 具志頭 朝一

連絡先	E-mail	icc@ryukyu.ne.jp		
	URL	http://ncb.ti-da.net/		
発足年	1999年	団体人数	20名	
活動地域	沖縄本島（主に瀬長島）			
活動紹介	<p>毎年3月～11月までの第三日曜日の10時より豊見城市瀬長島にて海岸清掃を行っております。</p> <p>瀬長島においては沿岸整備の為潮流に変化が見られ海岸漂着物がここ数年多くなっております。</p> <p>今季で15年目を迎え「大人が変わらなければ何も変わらない」をテーマに今後も活動していきます。</p> <p>【今後の活動の予定】</p> <p>15年目を迎え今後は「後継者」「後継グループ」の育成及び大人への啓発等「環境教育」を行っていきます。</p> <p>【アピール】</p> <p>やはり「大人が変わらなければ何も変わらない」</p>			
				
				

久米島ホタルの会 事務局長 佐藤 直美

連絡先	E-mail	kumehotaru@yahoo.co.jp		
	URL	http://kumehotarunokai.com/		
発足年	1994年	団体人数	45名	
活動地域	久米島			
活動紹介	<p>久米島町教育委員会施設『久米島ホタル館』を拠点として、4～5月にクメジマボタルの調査と観察会、6～7月に漂着ゴミや不法投棄ゴミの回収を呼びかけるイベント、8～12月に陸生ボタル及び幼虫の調査と観察会等の年間を通した大人向けの活動に加え、毎週土曜日の午前中には植物・昆虫・鳥の調査と小・中学生を対象に島の自然を体験し保全する目的の活動を行っています。</p> <p>また、一般の方が入り難い場所の不法投棄ゴミの回収作業を行うことで、自然を痛めている原因を直視しつつ、赤土流出防止や、植栽作業、学校の環境学習への理解を深める努力をしています。</p> <p>他には、久米島を訪れる修学旅行生や企業研修生、旅行者へのフィールドガイドや、毎月福島県から保養に来る保護者や子供達への自然遊びのサポートも行っています。</p> <p>【今後の活動予定】</p> <p>これまで続けてきた上記の活動を発展させつつ、赤土流出防止にもなる田の再生、在来植物の苗作り、久米島紬の天然染料などに取組み、自然を見守りつつ調査、行動、啓発を続けます。</p> <p>【アピール】</p> <p>人間は、地元の自然環境を理解することにより、無理なく安全で、そして豊かで幸せに生きる事が出来ると考えます。子ども時代の自然との触れ合いが多いほど、人としての生き方を豊かにしてくれます。私達は、その自然の案内人として、大きな活動ではなく、正しい活動を目指しています。</p>			
				
久米島ホタレンジャー(小中学生対象)		立神海岸クリーンビーチ		

水中写真家／有限会社ちむちゅらさ 代表取締役 横井 謙典

連絡先	E-mail	Ken451@aqua.plala.or.jp
	URL	http://www.timtuelassa.com/
発足年月	2002年6月	
活動地域	沖縄県	

活動紹介	<p>「ちむちゅらさ」とは沖縄の方言で「心が美しい」という意味です。地球の魅力を創りあげていくのは人の心です。人の心が美しければ美しいほど、その魅力は高まっていくでしょう。そんな心を育む活動を、海に触れることで私たちは行っていきたいと考えています。</p> <p>代表の横井は現在、沖縄テレビにて第二・第四火曜日の「横井謙典の海ありんくりん」をOTVスーパーニュースで担当していて、沖縄の海に関する話題を広く県民に伝えています。</p> <p>ダイビングインストラクターの肩書きを利用して、海に対する知識や捉え方を中心にダイビングガイドの育成を若手中心に、那覇地区や中部地区、座間味村阿嘉島などで毎年続けています。地域の子供たちを対象に海に親しむ啓蒙活動を行っています。</p> <p>【今後の活動予定】</p> <p>若手を対象にしたダイビングガイドの育成を今後も行います。テレビを通じて海への啓蒙活動を今後も伝え続けます。地域の子供達を対象に海の楽しさを伝えます。</p> <p>【メッセージ】</p> <p>台湾と沖縄はお隣同士でもあり黒潮でも繋がっています。これからもお互いに末長く交流することでより良き未来が生まれることを願います。</p>
------	---



水中ビデオカメラで撮影中の横井



水面に浮かぶビニール袋

恩納村「海をきれいに！」実行委員会（分科会）
代表 木村 正彦

連絡先	E-mail	diving@anaintercontinental-manza.jp (ANA インターコンチネンタル万座ビーチリゾートダイビングセンター)
	TEL	098-982-3057 (担当 木村)

発足年	2005 年	団体人数	28 社 (120 名程)
-----	--------	------	---------------

活動地域	沖縄本島（主に恩納村）
------	-------------

活動紹介

恩納村「海をきれいに！」分科会とは、「裸足で遊べるビーチにする！」をコンセプトに活動している恩納村のビーチクリーン団体です。高校生のチャリティーライブに参加したことがきっかけで誕生しました。

「エコについて何ができるんだろう?」と考えるよりも、シンプルにビーチが汚いから、きれいにしよう。

主な活動は「ゴミを拾うこと、ゴミを捨てないこと。」



その活動には、2005 年～2013 年までに累計 3,453 名が参加し、4,120kg のごみを回収しました。



【今後の活動予定】
 毎月 22 日に恩納村内のビーチクリーン活動をしています。

【アピール】
 毎月活動をしている団体は少ないと思います。当日のボランティア参加も大丈夫です。平日は 16:00～、土、日、祝日は 13:00～参加できる月にご参加下さい。ビーチクリーンの場所はお電話にてご確認下さい。



しかたに自然案内 代表 鹿谷 麻夕



連絡先	E-mail	shika@tedako.net	
	URL	http://www.shikatani.net/	
発足年	2003年	団体人数	2名
活動地域	沖縄県		
活動紹介	<p>私たちは、主に沖縄県内の学校や地域グループ等を対象とした海の自然観察会と環境教育を行っています。</p> <p>私たちのプログラムでは、地域ごとの自然環境の特徴をふまえて観察会や学習テーマを個別に組み立てます。よく扱うテーマは、海の生態系、生物多様性、そしてごみ問題です。</p> <p>これらの活動を通して、「環境と自分たちの暮らしとの関わりに気づき、自分たちにできることを考え、行動する人を育てる」ことが、私たちの環境教育の目標です。</p> <p>【今後の主な活動】</p> <p>浦添市港川の海では、毎年地元の小学校で環境学習を行うほか、自主的に毎月の定点モニタリング調査を行っています。また県内の小中高校や大学など、様々な場で環境教育の機会を設けて行きます。</p> <p>【メッセージ】</p> <p>人々が地元の海の自然を理解し、きれいな海を未来に残していけるように、活動していきたいと思えます。</p> <p>さらに、黒潮でつながる台湾の皆さんとの交流ができることを楽しみにしています。</p>		
			
海の自然観察会		漂着物を調べる	

波の上みそら公園／那覇シーサイドパーク マリン担当マネージャー 加藤 淳一			
連絡先	E-mail	nahabeach.cs@gmail.com	
	URL	http://sango.okinawa.jp/	
発足年月	2013年4月	団体人数	2名
活動地域	沖縄本島及び一部の離島地域		
活動紹介	<p>沖縄本島における海岸清掃活動に加え、NPO法人美ら海振興会が行うチービシ諸島/神山島(無人島)での生物調査や海岸清掃(海岸漂着物の分析も含む)等にも中心的に関わっています。</p> <p>また、学校法人KBC学園/専修学校 沖縄ペットワールド専門学校の教員として、授業の他に学生を対象に環境教育・普及啓発活動を行ってきました。現在は、波の上みそら公園/那覇シーサイドパークにて、サンゴをはじめとした海洋生物と生息環境を学べる教材(生息環境に関連した海岸漂着物の問題も含む)を作成し、観光客や地域住民・子どもたちに沖縄の海の大切さや素晴らしさを伝えています。</p> <p>【今後の活動予定】 那覇市内でかつ、那覇空港から10分という立地にある本施設において、多様性に富んだ海洋環境を活用した環境教育に力を注いでいきたいと思えます。</p> <p>【メッセージ】 台湾からアクセスが便利な那覇空港(空路)、若狭大型船バース(海路)に隣接した施設ですので、是非一度、遊びに来て下さい。</p>		
			
環境教育の事前レクチャー		海岸漂着物清掃活動	



**特定非営利活動法人 宮古島 海の環境ネットワーク
共同代表理事 春川 京子**



連絡先	E-mail	miyako@econet. jpn. org		
	URL	http://econet. jpn. org/		
発足年月	2012年2月	団体人数	22名	
活動地域	宮古諸島地域			
活動紹介	<p>NPO 法人宮古島海の環境ネットワークは、宮古島の海が大好きなメンバーが集まり、「宮古諸島の海をいつまでもきれいに守っていききたい」という思いで設立しました。1) 海岸清掃事業としてボランティア海岸清掃の企画、実施や情報ネットワークづくり、2) 教育事業として、地域の人々向けの環境教育プログラムの提供や学校への出前授業、そして3) 海洋調査事業としてサンゴの定点調査などを行っています。</p> <p>【今後の主な活動、アピール】 少しずつですが、活動に共感してくださる人が増えてきています。ボランティア海岸清掃の参加者をさらに増やし、清掃する海岸も広げていきたいです。来年秋には、海岸清掃のイベントを開催したいと思っています。</p> <p>【メッセージ】 普段は宮古諸島という小さい島の中でのみの活動なので、台湾の方々と交流し、情報交換をすることで自分たちの視野も広がるのではと楽しみにしています。</p>			



IBCC 石垣ビーチクリーンクラブ 代表 佐藤 紀子			
連絡先	E-mail	surfsa@hotmail.co.jp	
	URL	http://www.churaumi.net/ http://www4.ocn.ne.jp/~umilove/ 活動計画及び報告は八重山環境ネットワーク HP 及び海 LOVE ネットワーク事務局 HP に掲載	
発足年	2003 年	団体人数	約 13 名
活動地域	八重山諸島地域（主に石垣島）		
活動紹介	<p>私達 IBCC 石垣ビーチクリーンクラブは、2003 年よりサーフィンやボディボードの女子仲間が中心となり海岸清掃活動を始めました。石垣島の海岸で夏期を除き月に一度のペースで海岸清掃を行っています。海岸清掃を行う際には、IBCC が加盟している八重山環境ネットワーク（行政機関・民間団体・個人で構成され八重山の海洋環境保全推進活動を行う組織）や海・Love ネットワーク事務局より一般参加を呼び掛ける情報提供の協力があります。</p> <p>【今後の活動】 一人でも多くの方に参加していただき、海岸清掃を体験してもらい、ごみを捨てない心を広げたい。楽しく無理のない活動の継続。</p> <p>【アピール】 海ごみの問題は、全世界の人々の問題です。私達が行っている活動は、今私たちに出来る小さな行動ですが、海岸清掃の輪が広がり、世界中のビーチにごみがなくなることを願い活動していきます。この機会にぜひ台湾の皆さまと交流し、今後情報の共有や一緒に考えていける関係を築きたいです。楽しみにしています！</p>		
			
2012 年 10 月 白保(石垣空港東側)		2014 年 9 月 7 日 真栄里海岸	

海 LOVE ネットワーク事務局 実行委員長 笠原 利香

連絡先	E-mail	umi love@bird.ocn.ne.jp
	URL	http://www4.ocn.ne.jp/~umi love/
発足年	2009 年	
活動地域	八重山諸島地域（主に石垣島）	
活動紹介	<p>【立ち上げの主な目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ビーチクリーンをする人のサポート ・ 人・団体のビーチクリーン活動ネットワークをつなげ、広げる ・ 年に一度、「海 LoveLove フェスタ」のイベントを開催 <p>「海 LoveLove フェスタ」について・・・</p> <p>ビーチクリーンが初めてという方を始め、多くの人にビーチクリーンを体験していただき、漂着ゴミの現状に興味をもっていただくためです。漂着ゴミアート作成、パラグライダーを使って撮影、ライブや炊き出しをして楽しめる工夫をしています。</p> <p>活動すべてがボランティアで行います。お金の行き来や権威で人を動かさない為。立場や年齢の壁を超えて、海が好き、島が好きという同じ気持ちの友達の輪を広げることを大切に活動しています。無理のない楽しいビーチクリーンが活動の基本です。</p> <p>【アピール】</p> <p>フェスタの語尾に「in 石垣島」とつけたのは、他の場所でもこのフェスタを開催され、広がって欲しいという思いからです。海でつながった島や国が一緒になってこの問題と向き合って、解決していきたいという思いがあります。みんなでビーチクリーンすると楽しい！！この気持ちを広めていきたいです。</p>	
 		

石垣島沿岸レジャー安全協議会 役員 大堀 健司			
連絡先	E-mail	fukumimi@wonder.biglobe.ne.jp	
	URL	http://ishigaki-safety.info/	
発足年	2005年	団体人数	17人
活動地域	沖縄県石垣市（石垣島）		
活動紹介	<p>石垣島沿岸レジャー安全協議会としては、年数回の各自が利用するフィールドの清掃活動。 漂着ゴミに関する環境教育活動。</p> <p>【今後の予定】 継続的なフィールドの清掃をしていきます。 イベントなどで漂着ごみ問題の環境教育活動を行います。</p> <p>【アピール】 多団体と協力しながら、メンバーそれぞれの得意分野を活かし、無理のない気持ちの良い活動を続けていきたい。</p>		
			

**特定非営利活動法人西表島エコツーリズム協会
理事 徳岡 春美**

連絡先	E-mail	info@iriomote-ea.com
	URL	http://iriomote-ea.com
発足年	1996年	
活動地域	八重山諸島地域（主に西表島）	
活動紹介	<p>NPO 法人西表島エコツーリズム協会は、人と自然が共生する西表島をめざして、西表島における観光事業者の意識・スキルの向上や、住民自身が自然環境を保全し、自然と調和した暮らしを継承していける自立した地域社会を作ることとを目的として設立しました。エコツーリズムを手段として、「環境保全」「環境教育」「エコツーリズム」「文化継承」の4つのキーワードを軸に様々な活動を行っています。</p> <p>海岸清掃活動（ビーチクリーンアップ大作戦）は、八重山環境ネットワーク西表エコプロジェクトと協働で毎月1回、10年以上にわたって行っています。また、回収したゴミを分別し、回収量やペットボトルの原産国を調査し、データとして蓄積しています。</p> <p>【今後の活動】</p> <p>西表島は県内で二番目に大きい島ですが、人口はわずか 2,300 人程度です。今後は観光客や修学旅行生などと一緒に清掃活動ができる仕組みもつくっていきたいと考えています。</p> <p>【メッセージ】</p> <p>元気な島っ子たちといっしょに活動しています。そんな子どもたちに島の素晴らしい自然をそのまま残してあげたいです。</p> <p>正会員：個人 38 名、団体 5 団体 賛助会員：37 名</p>	



ビーチクリーンアップ大作戦（鹿川海岸）




島内の子供向けの環境教育プログラム

●台湾側参加団体



台灣清淨海洋行動聯盟

Taiwan Ocean Cleanup Alliance
(T.O.C.A)

<p>Tainan Community College</p>	
<p>Introduction</p>	<p>Long term monitoring program since Oct , 2005</p> <p>Cooperate with local government to ban on styrofoam cups & tableware from Apr , 2013</p> 
<p>Contact information</p>	<p>http://163.26.52.242/~beach</p> <p>Blog : http://www.tncomu.tn.edu.tw/blog/808/</p> <p>Email : yating.tai@gmail.com</p> <p>TEL : 06-251-5670</p> <p>ADD : No.750, Gongyuan Rd., West Central Dist., Tainan City 700, Taiwan</p> <p>member : Ya-Ting,Dai、 Rui-Guang, Chao</p>



Kuroshio Ocean Education Foundation

Introduction

- Pass on the monitoring method (2004~)
- Organize ICC(2004~)
- Long term monitoring research in Hualien (2004~2006)
- International cooperation
- Organize TOCA
- Education and Exhibition



Contact information

<http://www.kuroshio.org.tw>



Email : kuroshio@seed.net.tw

TEL : 03-8246700 FAX : 03-8246717

ADD : No.81, Zhongmei Rd., Hualien City, Hualien County 970, Taiwan

member : Tai-Di,Chang 、 Wyland,Lai

National Museum of Marine Science & Technology

Introduction	<ul style="list-style-type: none"> • Monitoring program • Education • Exhibition 
	
Contact information	<p> http://www.nmmst.gov.tw/ EMAIL : ocean@mail.nmmst.gov.tw TEL : 02-24696000 ADD : No.367, Beining Rd., Keelung City, 202, Taiwan Member : Dr. Li-Shu,Chen、 Dr.Yun-Chih,Liao </p>

Taiwan Environmental Information Association

Introduction

Do the monitoring program in Taipei , Penghu ,Taidung
 Special column of marine debris on newsletter
 Cups art exhibition



Contact
 information

<http://www.e-info.org.tw>
 EMAIL : service@e-info.org.tw
 TEL : 02-2933-2233
 ADD : No.38, Wanlong St., Wenshan Dist., Taipei City 116, Taiwan
 Member: Siou-Ru, Sun, Jude, Lin

Introduction

Join ICC since 2006
 Make the teaching plan and use in the school
 More than 5000 volunteers join ICC each year



Contact information

<http://ocean.sow.org.tw>
 Email : ocean@wilderness.tw
 TEL : 02-2307-1568 FAX : 02-2307-2568
 ADD: No.204, Zhao'an St., Zhongzheng Dist., Taipei City 100, Taiwan
 member : Jason Hu

